



国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

例会日：毎週火曜日 午後12:30～1:30

例会場：鶴岡市錦町 東京第一ホテル鶴岡

事務局：鶴岡市馬場町11-63(産業会館3F) TEL 0235-28-3375

超私の奉仕

第2284・85回 例会会報 平成17年9月17日(土)・20日(火) 晴(本年度 第10・11回)

会長報告

加藤 功

各ロータリークラブは、1種類の事業または専門職業に偏らない均衡のとれた会員身分を有すべきである(RI定款第5条第2節(b)と定めている。すなわち、すべての業種(事業と専門職業)は等しく奉仕の理想を掲げて、広く多くの業種を結集して活動を遂行する、異業種の奉仕団体であることを明記している。

業種とは企業(職業・業務)の種類であり、また企業とは営利を目的として物質(財)・サービスの生産・販売などの事業を継続的に行う経済主体である。さらに同種の企業は一つの産業の構成単位である。わたくしの職業分類は農学、とくに農業経済学であり、わたしはそれを専門職業としています。農業経済学とは食糧や繊維の生産、加工、流通・分配、そして消費のために、希少資源を競合する代替的利用に配分することに関する社会科学です。

現代では、農業という産業は、食料産業ともいわれ、それは農業資材供給産業(種苗、肥料・土壌改良剤、防除・生物機能調節剤、被覆・諸材料、機械・器具・施設など)、農場農業(有用生物の育成)、食品産業(食品加工、食品流通、外食)そして公共事業・行政サービスから構成された社会的分業・経済組織にしっかりと組み込まれています。

こうした食料産業はこれらの産業の育成、製造、流通・輸送・販売サービス各部門など、いわゆる1次、2次そして3次産業の相乗効果(1×2×3=6)としての6次産業であるといわれるように、どれを欠けても農業の発展・成長はいたしません。とくに国際競争力の強化にはいずれの部門でも効率化(コストダウン)、高品質化が要求されています。農場農業では科学技術を取り入れた農場の農地規模拡大・生産量拡大、生産育成事業の組織化・法人化、生産と消費の連携組織の形成が課題です。また、食

品加工業をはじめ食品産業の健全な発展・成長なくして、農場農業の発展・成長は確保できません。とくに、日本のように高度に発達した資本主義自由市場経済社会における農場農業では、食品産業の発展・成長が緊急な課題であります。

東北地方、山形県そして庄内地域には農場農業をはじめ、農業資材供給産業や食品産業(食ビジネス)などが多様に展開する余地を持っています。たとえば、庄内地域には、農業資材供給産業として前田製管、斎藤農機、秋山鉄鋼、久保田・井関農機の販売店、さまざまな農薬販売店、生産資材販売店があり、食品産業では酒田製菓・木村屋・ブルボンなどの菓子加工業、マルイチ・本長・農協などの青果物漬物加工業、平田牧場などの畜産物加工業、大山・富士など酒醸造業、主婦の店・生協・諸スーパー・コンビニなどの量販店、三温泉など旅館・ホテルを含む諸外食産業、ほかほか弁当など中食業など多様な食品産業が多く存在している。

農場農業あるいは農業関連産業だけでもさまざまな業種があり、異業種によるロータリー会員の増強は潜在的にきわめて可能である。

どうか、会員の皆様にはこうした視点をふまえて、会員拡大と増強に力を貸してくださることを切にお願いいたします。

さて、会長報告としては、次の活動がありました。

1. 地区大会、9月16、17日参加ご苦労様でした。とくに、交通整理にご協力いただきまして有難うございました。
2. GSEでは、9月13、14、15日と2人のブラジル人の宿泊のお世話をしてくださいました松浦、佐藤孝子両氏には感謝とお礼を申し上げます。
3. 第36回鶴岡田川地区小中高児童生徒考案創作展。審査・表彰式、9月11日に行われました。
4. 平成17年度田川地区中学校高校英語弁論大会。9月6日に表彰式で挨拶してきました。
5. 地区2AG 富樫幸弥殿宛、要望書提出。

自分にも出来る温暖化防止

ストップ! アイドリング

世界社会奉仕(WCS)について

高橋 良士



本年度(2005 - 2006 年石黒年度)、国際ロータリー第 2800 地区の世界社会奉仕小委員会を担当することとなったが、2005 年 2 月アナハイムの国際協議会に出席中の石黒ガバナーエレクトからの私信で 2800 地区は他の地区と比較して世界社会奉仕の activity が低いとの指摘があった。本年度地区の具体的目標と方策の重点事項として石黒ガバナーは世界社会奉仕の普及と発展、マッチンググラントの活用をあげている。

とかく世界社会奉仕プロジェクトは少々理解しがたく取りつきにくい面があり、しかも遠い海外の途上国のため実感としてとらえにくく、その成果も手応えが少ないことなどが世界社会奉仕活動の大きな阻害因子となっているのではなかろうか。

これらの阻害因子をクリアし世界社会奉仕プロジェクトに全クラブがチャレンジし、参加できるように世界社会奉仕の概要について述べてみたい。

世界社会奉仕の定義と目的

World Community Service - WCS -

世界社会奉仕(WCS)は World Community Service の略語である。WCS のプログラムは公式には 1967 (昭和 42 年) 年に発足した国際奉仕に属する奉仕活動である。

国際奉仕は青少年交換をはじめとしたロータリアン間の国際理解・親善・平和への努力といった精神的な側面を謳っているのに対し、世界社会奉仕は国際的な資金的、物的、また人的な援助による国境をこえた社会奉仕の一環である。ロータリアンはこの活動を通じて人々の生活を改善し、人々のニーズに応えるプロジェクトを実行することが目的である。

世界社会奉仕の隘路は何か？

世界社会奉仕活動は何故海外への援助が必要なのか、ボーダーレスの時代とはいっても遠い海外のことでもあり実感としてとらえがたく、砂に釘を打つような手ごたえのなさ、対象が途上国であり、コミュニケーションやプロジェクトにファジーな面もあることなどが、活動意欲を低下せしめる大きな要因と考えられよう。

更に手続きが煩雑であり、英語でのコミュニケーションが日本人にとっては苦手なことであろう。たしかに、まだ日本人にとって英語を中心とした外国

語は苦手ではあるが、すでに英語は世界共通語でもあり日本人も英語の識字率向上を更に目指さなければならぬ。

また、海外とのコミュニケーションは時間と忍耐を要することや活動資金はどうすればよいか？などが世界社会奉仕活動を躊躇させる要因と思われるが、活動資金はロータリー財団と世界社会奉仕は手を携えるパートナーシップであるということの理解を深めることが大切である。

委員会報告

9月17日(土)分

●出席委員会

委員長 阿蘇 司朗

本日の出席		前々回の出席	
会員数	45人	出席率	63.64%
出席数	32人	修正出席数	33人
出席率	72.73%	確定出席率	75.00%

●メイクアップされた方

藤川享胤君・丸山隆志君・松井 亨君
迎田 健君・須田貞夫君・富樫松夫君
塚原初男君

9月20日(火)分

本日の出席		前々回の出席	
会員数	45人	出席率	68.18%
出席数	26人	修正出席数	33人
出席率	59.09%	確定出席率	75.00%

●メイクアップされた方

藤川享胤君・本間昭吉君・加藤 功君
丸山隆志君・真島吉也君・松浦 寛君
斎藤 昭君・佐藤友行君・高橋良士君
富樫松夫君・若生恒吉君

●社会奉仕委員会

委員長 本間喜美子

☆由良海岸香頭ヶ浜清掃作業のお知らせ

日時：10月9日(日) 9:30 集合

場所：現地集合

会費：1,000 円 家族無料

作業後にも煮会を行います。

☆アイドリングストップキャンペーン用

ステッカーデザイン募集 ※10月4日まで

☆「四つのテスト」碑完成

集合写真を10月11日に撮りたい。詳細後日。

スマイル

嶺 岸 禮 三 君 高橋先生スピーチ及び小冊子有難うございました。